

第 15 次共同研究に係る加盟機関及び域内における実践

(後志教育研修センター)

研究内容 1

「授業改善」及び「授業改善を促す校内研究」支援の在り方に関わる学校支援の取組について

(1) 授業改善のための支援

ア 指導と評価の一体化の促進

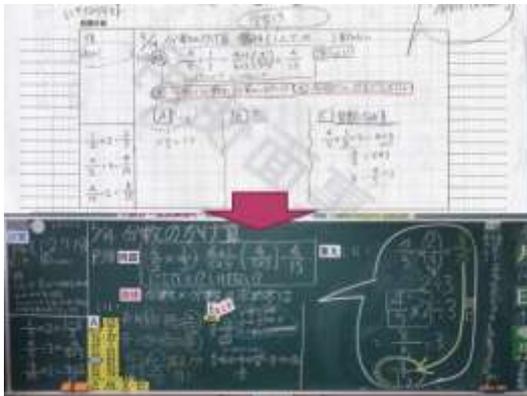
イ 思考力を育む授業づくりの促進

ウ カリキュラム改善の視点を踏まえた授業づくりの促進

○研修講座「学習指導（基礎）」「学習指導（応用）」の開設

研修講座「学習指導（基礎）」では所員と研究協力校の教員（授業者）が講師となり、主に若手教員を対象に「授業づくりのベーシックオブベーシック」といった内容で講義や演習を行った。授業実践を基に、学習指導や学習規律に関することを伝えるとともに当センター所員の指導技術や指導法についても伝える場を設けた。

研修講座「学習指導（応用）」ではある程度以上の経験年数の教員を対象とし「言語活動の充実」「アクティブラーニング」をキーワードとし講義・授業実践を行った。



講座講師の「板書型指導案例と実際の板書」



受講者のつくった「板書型指導案」

○所員所属校でのメンター研修の実施

年間 3 本の「検証授業」を通して実践的指導力の向上を図るための教職員研修の工夫・改善、授業研究を核とした校内研修の在り方について検証を行った。その際、当研修センター所員の所属校におけるメンターチームによる授業研究を行い、若手教員の実践力向上とミドルリーダーの指導力向上を図るとともに、ワークショップ型研修の推進を行い、組織的な校内研究体制の確立を目指した。次年度は所員の所属校以外の学校へ「メンターチームによる授業づくり」を取り入れた実践を広げていきたいと考えている。

